SDエンターテイメント株式会社

RIZAP GROUP

2019年3月期
決算説明資料

2019年5月15日（水）
ＳＤエンターテイメント株式会社
代表取締役社長　吉住　実
（東京証券取引所JASDAQ　証券コード4650）

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

2019年3月期
事業トピックス

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

事業topix-1

今期は事業再編の加速に着手し成果の兆しに手応えを感じ始めた最中に胆振東部地震が発生し企業戦略の変更を余儀なくされ会社分割・耐震問題を抱える不動産を売却。各事業についても赤字運営からの脱却が見込めない店舗を随時閉店。

▶ 天変地異

2018年09月）胆振東部地震

▶ 企業再編

2018年12月）エンターテイメント事業を会社新設分割・売却
札幌中央ビルの売却

▶ 事業再編（閉店）

フィットネス事業：３店舗の閉店を実施・決議（SO葛西・ノルベサ・札幌白石）
ネットカフェ事業：３店舗の閉店を実施・決議（久居・豊橋藤沢・札幌白石）
ゲーム事業　　：２店舗の閉店を実施（南福島・ノルベサ）

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

事業topix-2

事業再編の一方で、新規収益の獲得を目的として宮城県仙南地域の中心である大河原町にＳＤフィットネス大河原を出店。オンラインクレーンゲーム事業では、より拡張性の高いプラットフォームをもった「とれたね」店を出店。保育事業は都内７園を新規開設しRIZAPグループの従業員に対する福利厚生の充実や地域貢献を目指す。

▶ フィットネス事業

2018年09月）ＳＤフィットネス大河原（宮城）オープン

▶ オンラインクレーン事業

2018年09月）第二号店「とれたね」店オープン

▶ 保育事業

保育園７園を新たに都内に開園
（ 高円寺・田端・東中野・東府中・武蔵関・蒲田・亀戸 ）

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

2019年3月期
通期業績

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

SDエンターテイメント

P/L（連結）

エンターテイメント事業譲渡により売上・利益減少。また、第４四半期において、株主優待関連費用や保育園の開園準備費用の発生により販管費が増加。

単位：百万円

	2018年3月期 4Q実績	2019年3月期 4Q実績	増減額
売上高	7,940	7,038	▲902
売上総利益	6,443	5,839	▲604
販売管理費	6,374	6,043	▲330
営業利益	68	▲204	▲273
経常利益	▲73	▲324	▲250
親会社株主に 帰属する当期純利益	20	▲190	▲211

▶ 純利益減少の主な要因は、不採算店舗の閉店と減損損失の計上等によるもの。

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

SDエンターテイメント

P/L 分析-1

事業セグメント	売上高			営業利益		
	当期実績	前年同期	前年同期比	当期実績	前年同期	前年同期比
エンターテイメント事業	3,530	4,820	73.2%	252	426	59.3%
ウェルネス事業	3,118	2,567	121.5%	216	142	151.8%
その他	392	561	70.0%	106	186	57.5%
(調整)	▲2	▲8		▲780	▲686	
連結計上額	7,038	7,940	88.6%	▲204	68	–

- エンターテイメント事業は、オンラインクレーンゲームが順調に推移するも、震災後の消費自粛傾向の影響による売上減収と事業譲渡により売上・営業利益が減少
- ウェルネス事業は、フィットネスの宣伝費の効果的投入等運営方法の見直し効果や、不採算店舗の閉店、保育園の開園により増収増益

【事業譲渡の詳細】
12月19日で新設分割承継会社である㈱スガイディノスに一部店舗を除くエンターテイメント事業を承継し、翌20日にスガイディノスホールディングス㈱に対し、㈱スガイディノスの全株式を譲渡
(GAME14店舗・ボウリング9店舗・シネマ4店舗・ゴルフバー1店舗)

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

SDエンターテイメント

P/L 分析-2 その1

前期比較の主な増減理由

単位：百万円

	売上高 影響額	営業利益 影響額	特別損益 影響額
1. エンターテイメント事業(前期比較)			
赤字店舗閉鎖による利益改善額	▲91	4	
前期以前からのクレーンゲーム集中投資によるリース含む償却費の減少		32	
2. ウェルネス事業(前期比較)			
スクラップ＆ビルド(フィットネス1増2減、保育・介護9増5減)	460	57	▲202
保育園開園等による補助金			▲86
3. その他			
フィットネスを初めとする各事業の宣伝費・販促費の適正化と 実施時期の見直しによる減少		69	
株主優待関連費用の増加(株主優待引当金繰入額を含む)		▲58	
照明のLED化推進による光熱費(電気代)の減少		28	

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

SDエンターテイメント

P/L 分析-3 その2

期初計画にはない構造改革施策等による主な増減要因

単位：百万円

	売上高 影響額	営業利益 影響額	特別損益 影響額
1. エンターテイメント事業の譲渡			
エンターテイメント事業の譲渡に伴う売上・営業利益の減少ならびに事業譲渡益	▲1,517	▲204	988
2.自社不動産の売却			
本社ビル売却に伴う(賃貸不動産収入)売上・営業利益の減少ならびに固定資産売却益	▲10	▲10	1,232
3. 不採算店舗の閉鎖			
不採算店舗の閉店意思決定に伴う閉店費用等			▲551
4. 地震による損失			
地震による停電期間の直接的売上影響及び営業再開後の消費自粛傾向による売上影響、ならびに地震被害に伴う設備・機械等の修繕等	▲125	▲71	▲55
5. 店舗固定資産の減損損失			
「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく、将来キャッシュフロー見積りによる投資回収不能店舗等の減損損失(投資回収不能見込額)			▲992

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

SDエンターテイメント

B/S（連結）

自己資本比率は前期末水準と比べ改善(25.9%)

単位：百万円

資産の部（主要項目抜粋）	前期末	当期末	前期比較
現預金	1,060	1,349	+288
売掛金	520	269	▲250
棚卸資産	135	55	▲79
その他流動資産	246	595	+349
有形固定資産	7,022	4,592	▲2,429
その他固定資産	1,463	1,283	▲179
繰延資産	82	41	▲40
資産合計	10,529	8,188	▲2,341

負債の部（主要項目抜粋）	前期末	当期末	前期比較
買掛金	256	193	▲62
有利子負債	6,749	3,926	▲2,823
その他流動負債	919	1,684	+764
その他固定負債	273	259	▲13
負債合計	8,199	6,063	▲2,135
株主資本	2,318	2,118	▲199
純資産合計	2,330	2,124	▲206
負債・純資産計	10,529	8,188	▲2,341
自己資本比率	22.1%	25.9%	

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

SDエンターテイメント

事業総括

会社分割・譲渡により大幅減収をするも本社ビル売却で得た資金を合わせ、不採算構造および将来リスクを可能な限り排除したため大幅な当期純損失を計上。収益事業および成長事業へ資本集中できる企業体質に転換し来期以降の増益を図る。

▶ 借入金の減少

前期末 6,749百万円 → 今期末 3,926百万円（減少率 41.8%）

▶ 自己資本比率の改善

前期末 22.1% → 今期末 25.9%（増加率 3.8%）

▶ 事業再編（閉店・改修）

・不採算店舗の閉店７店舗
・来期以降修繕計画の前倒し

→ 今期実施により来期以降の利益貢献を狙う

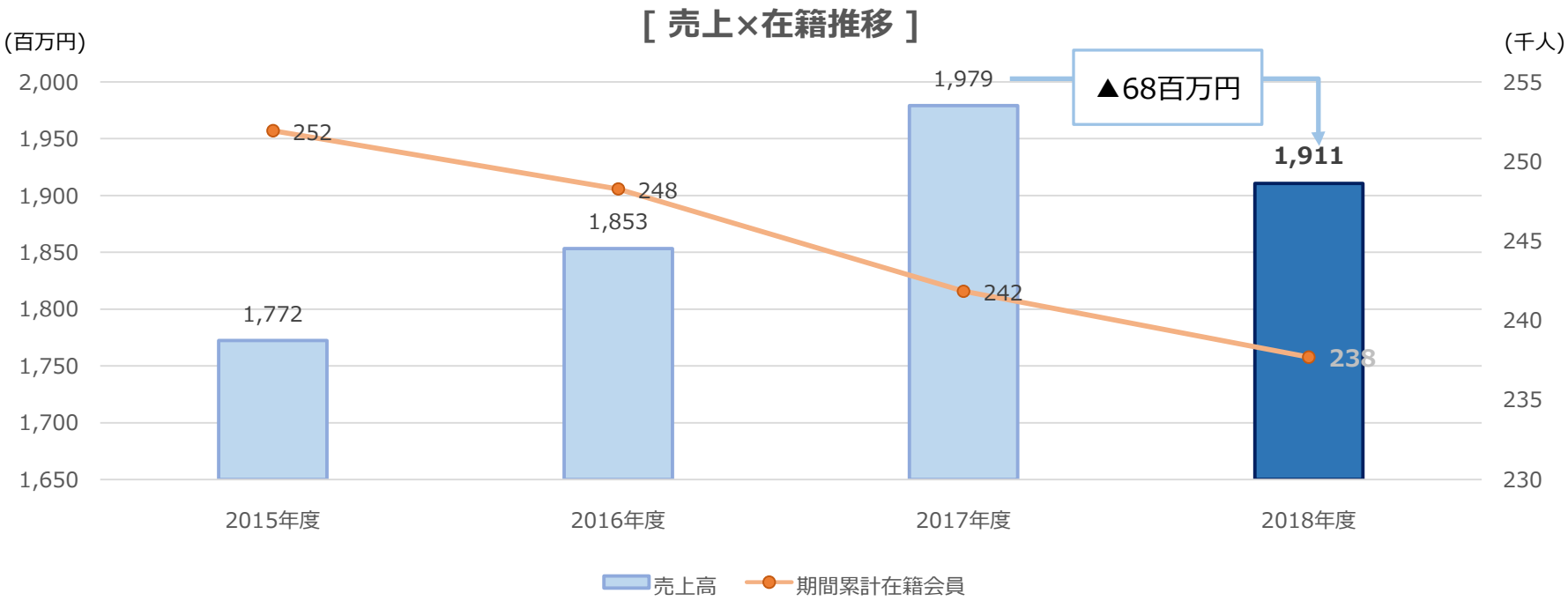
©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

2019年3月期
事業別概況

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

ウェルネス事業－1

フィットネス事業の既存店は相次ぐ競合他社の出店により売上高減少。



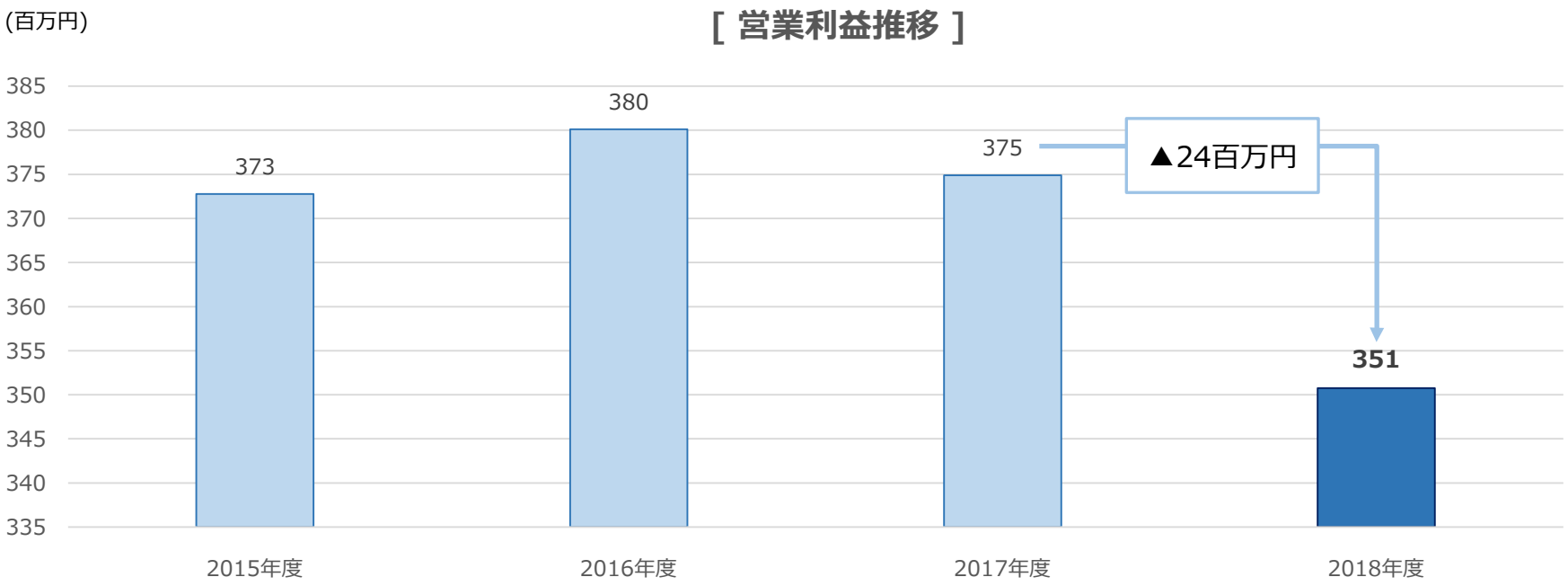
設備改修や魅力あるサービス拡充を実施することで減収の下げ止まりを図る

既存店・2020年3月期4Q売上高 ▶ 目標：現状維持

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

ウェルネス事業－２

フィットネス事業の既存店営業利益は減収影響に加え、第４四半期に給与制度の見直しと設備改修を実施したため減益。



翌期に先送りとなっていた施設改修を前倒し顧客サービスの改善を図る

2020年3月期4Q営業利益 ▶ 目標４億円を目指す！

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

ウェルネス事業－３

フィットネス構造改革順調、新規出店と閉店実施

▶ 新規出店

宮城県大河原町の大型商業施設「フォルテ」内に9/4オープン

▶ 閉店

SOランナーズ葛西(18.06)・ノルベサBlooms(18.09)・札幌白石(19.06)
不採算店を閉店し人材等の資源の集中を図る

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

ウェルネス事業－4

保育事業　開園済み店舗は順調に推移

▶今期新たに７園を開設

（ 高円寺・田端・東中野・東府中・武蔵関・蒲田・亀戸 ）

企業主導型保育所
カメリアキッズ
Camellia Kids

施設数
10園

企業主導型
チューリップ保育園

施設数
3園

ＳＤエンターテイメント・グループ
運営施設数 13園

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

ウェルネス事業－5

札幌市内において保育事業決定！

▶札幌市内4園を来期早々の開園に向けて準備を進める。

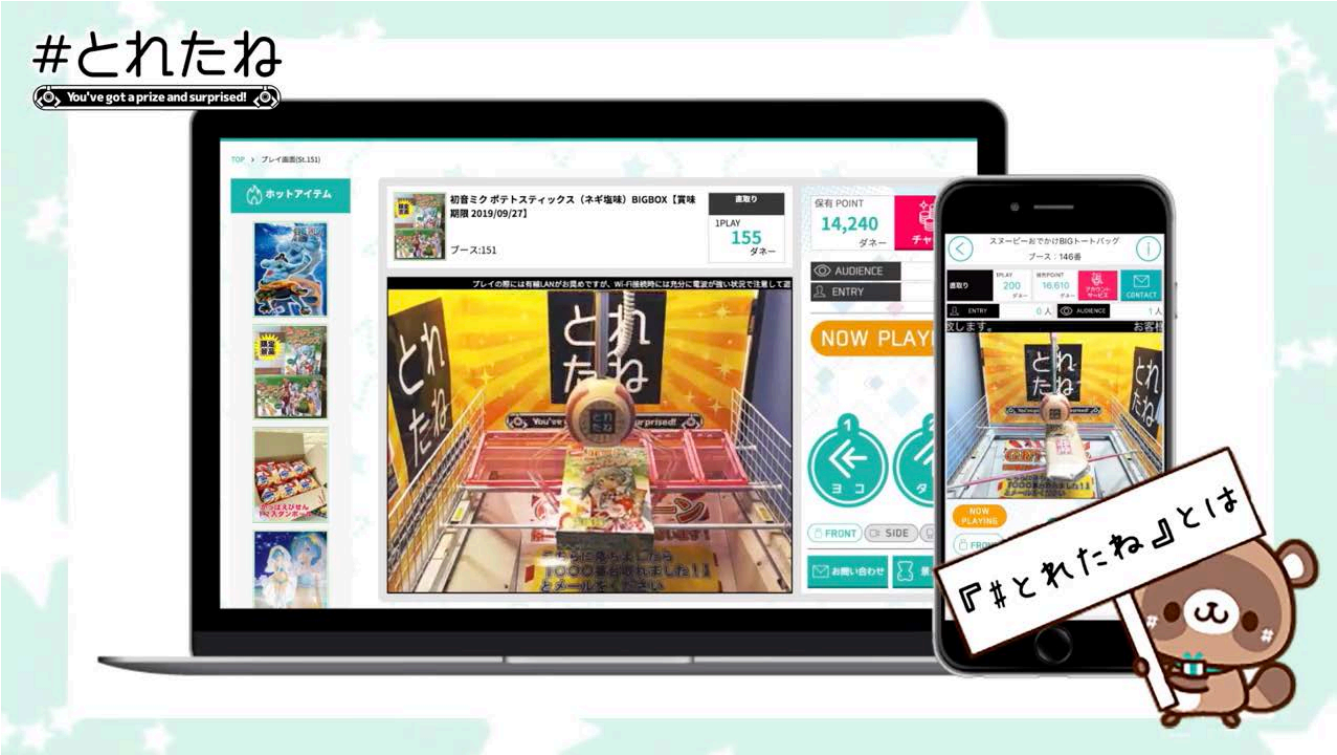
自社及び提携企業の雇用の安定確保と、女性活躍支援・子育て支援に積極的に取組んでいく。
(開園場所：白石・麻生・東区役所前・月寒中央)

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

SDエンターテイメント

オンラインクレーンゲーム事業－1

2018年9月ローンチ・新規アプリ「とれたね」の売上推移順調



アプリストア評価は上々。迅速・丁寧な発送が特に支持されている。

2018年度4Q ▶ 会員数1.7倍

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

2020年3月期以降
事業ビジョン

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

ウェルネス事業－1

既存店戦略に加え新規業態への参入を計画

既存店戦略 ▶ 継続的な設備改修と建替に着手

Ⅰ．収益店舗
① 満足いただける装置サービスの提供のため継続的な修繕・保守を徹底する
② 将来に亘り継続的に収益が望める店舗は建替を計画していく

Ⅱ．不採算店舗
③ 新サービスの提供等の事業努力が実らない場合、経年による設備維持費も考慮したうえで閉店を実施していく

新業態参入 ▶ 投資コストの低い事業への参入

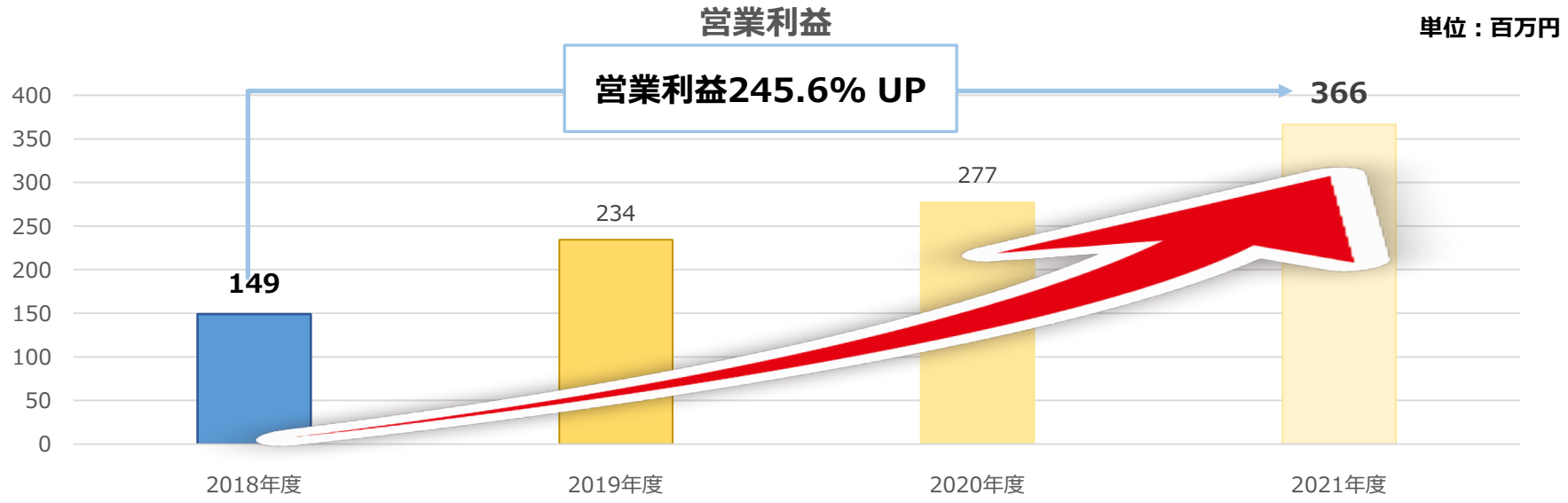
Ⅲ．小規模店舗事業への参入
① 24時間ジム・ホットヨガスタジオ事業に「付加価値」をつけ参入を計画中

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

ウェルネス事業－2

既存店収益性を高め、総合型フィットネス偏重の業態から脱却を図る

2019年度 ▶ 新サービスの導入を目指す！



フィットネス事業全体の2018年度営業利益149百万円

2021年度・営業利益 ▶ 目標3.6億円を目指す！

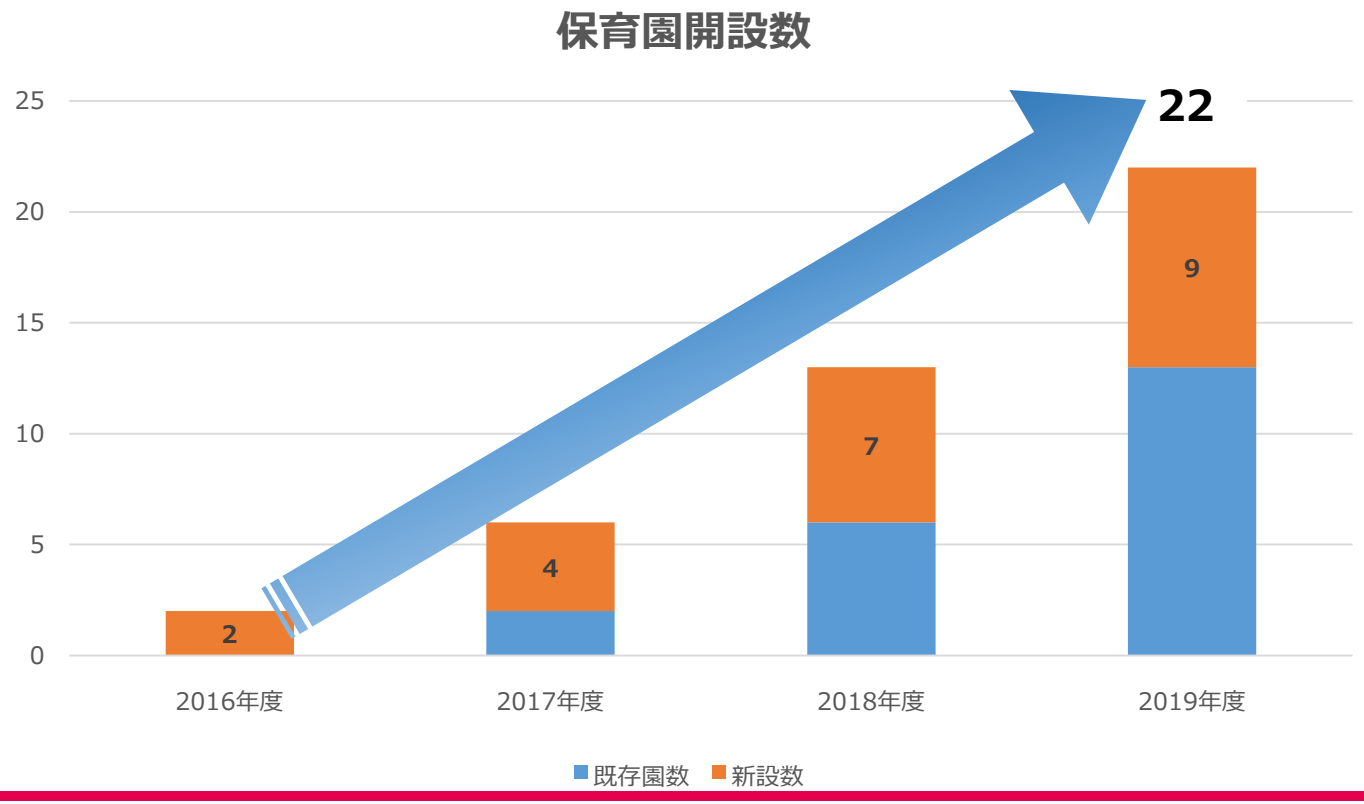
©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

ウェルネス事業－３

保育事業は今期も堅調に推移する見込み

▶2020年03月期・初開設の札幌を含む９園を新規開設

（都内４園・神奈川１園・札幌市４園）



©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

オンラインクレーンゲーム事業－１

成長戦略

成長戦略① ▶ 海外展開

・英語圏向けアプリを2019年5月中リリース予定
・中国語圏対応アプリを2019年夏頃リリース予定

巨大な海外市場へ進出し売上を拡大する

成長戦略② ▶ ブース数 33%増

・現在の300ブースを400ブース以上に拡張

今後も会員数増加にあわせブース数を拡大する

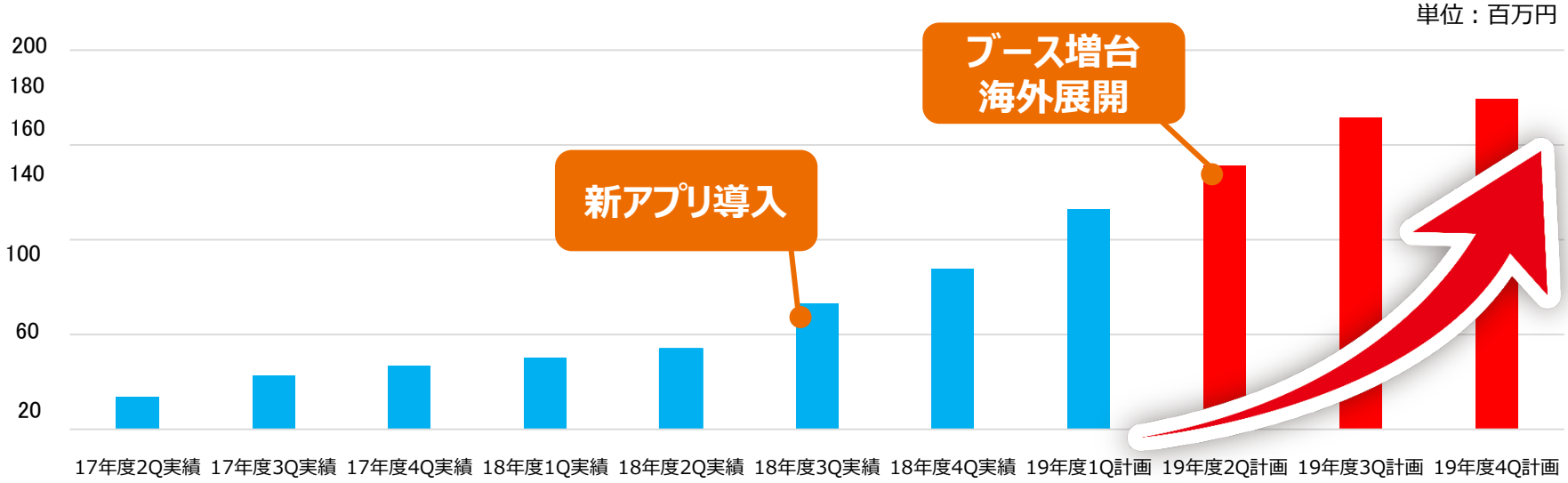
©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

SDエンターテイメント

オンラインクレーンゲーム事業－２

昨年度売上高は前年比 300%まで伸長

2019年度 ▶さらに事業をドライブさせていく



昨年導入した新アプリ順調に推移し単月黒字化を達成！

2020年3月期売上 ▶ 目標６億円

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

2020年3月期
連結業績・配当予想

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

SDエンターテイメント

P/L 予想

2019年03月期に不採算店舗の減損処理、設備改修の前倒しを実施したことによりウェルネス事業は利益の回復を見込み、オンラインクレーンゲーム事業は二号店「とれたね」の利益転換が早期に実現。「ぽちくれ」と合わせ一層の増収増益を目指す。

（単位：百万円）

[連 結]	2019年3月期（実績）	2020年3月期（予想）	増減額
売上高	7,038	4,800	▲2,238
営業利益	▲204	160	＋364
経常利益	▲324	130	＋454
親会社株主に帰属する当期純利益	▲190	70	＋260
１株当たり当期純利益（円）	▲21.29	7.81	＋29.1
１株あたり配当金（円）	0	1.56	＋1.56

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved

免 責 事 項

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。

©2019 SD ENTERTAINMENT.Inc All Right Reserved